

おわりに

◆今庄地区で開催した県政報告会の席上で、猿の被害が深刻であることを伺いました。「猿は捕獲者のことを覚えてる」、「ボスを倒したあと、群れが分裂してなお悪い」などと、猿の捕獲は困難を極めるそうです。県では猿にGPS(発信機)を付けて、効果的な捕獲方法を調査中とのことです。急がれます。

他にも、南中山地区ではサギの害、高浜町ではヌートリア、「鹿は丹生山地を北上して福井市にも出没」などなど、猿の被害は拡大の一途です。9月議会でその対策を糾し一層の取り組みを求めます。結果は県政報告会で詳しくお知らせいたします。

◆市議会にいた当時、「細川さんはイノシシの話を何度もするけれど、自分は市内だからアリティーないんだよね。」と、市街地に住んでいた同僚議員に言わされたものです。その後間もなく、その市街地にも猿の被害が拡大しました。

「山の荒れ」は「里の荒れ」に伝播します。防災面でもそうです。山に関心と目を向けていただく努力を行うとともに、総合治水や猿の対策に尽力してまいります。

今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

◆畠仕事を始めました。4～5年の間手をかけなかつたところなので、草が生える、生える、伸びる・・・。昨年はジャングルのような畠でも、ナスやピーマン、きゅうり、ハーブと、それなりに収穫の喜びを味わうことができました。しかし今年は、忙しさにかまけて手入れ不足、草むしりが間に合わず、途中放棄・・・とあきらめたとたん、ワイヤーメッシュを押し開けて、イノシシに入られてしましました。そう、畠が彼らの「餌場」と化したのです。・・・そうです。餌場を作つてはいけない！中途半端に畠仕事をすべきではないと、只今大いに反省しているところです。

細川かわり県政報告

第18号

◆近年野生鳥獣が農作物被害など深刻な問題を引き起こしており、市議会議員の時から、鳥獣対策を強化する意見を重ねてきています。

鳥獣被害が拡大。殺処理後の処理ができないから捕ることもできないと泣き寝入りしている集落もある。

処理施設を市町が設置しやすいよう県が調整・支援すべきだ。

猪が出ると子ども達も危ない！

農作物被害だけでなく、猪が山に穴を掘るので法面崩壊の危険がある。捕獲後の処理場を作ったり費用に補助金を出したり支援できないか？

市有山林があるならそこに埋めては？対策が不十分だからだんだん増える。

市議会にいた当時、「**市**議会の責任は市にあるが、施設は広域の問題だから県で調整して欲しい」と言うので

H23 県議会

H22 市議会

H21 市議会

H20 市議会

◆越前市の対応は、「地区での処理を」というものから「鳥獣対策協議会で話し合い」、「越前市独自の補助金」と歩みを進め、また県では「鳥獣害のない里づくり推進事業」として予算を増大、侵入防止柵の設置、有害鳥獣の駆除、捕獲おりの設置等に補助し、被害は減少傾向（3年連続300ha以下）と言われていました。しかし・・・

イノシシの頭数が減ったとか被害面積が減ったとか言われるが、昨シーズンは雪が多かったため、ウリ坊（猪の子供）が歩けなくてかなり死んだのと、秋の山に木の実があったから山にいただけの話。地域ではイノシシが減ったという実感はない。

むしろ、去年の秋にたくさん木の実がなって、たくさん食べて、この冬は雪が少ないので、今年は爆発的にイノシシがふえるだろうと、強い危機感を持っている。既に私の地元の周りではウリ坊が集落内を歩いている。

「今年はひどい！」と思ってやらないといけない。

◆案の定、今年の猪の出方は**昨年の4倍！**被害は農地だけでなく、土手や堤防、農業施設、お墓まで、増えた猪が餌を求めてあちらこちらに出ています。車に衝突した事例もあります。今年はやっぱり・・・



イノシシ、鹿、サル
緊急事態！…そこで、

鳥獣対策特集



今年3月県議会

ラジオ局「丹南FM79.1」

「県議会 夢通信」

9月20日（土）午後4時～4時30分
再放送（日）午前9時～9時30分

細川かわり県政報告 H26.9
発行：福井県議会 細川かわり
<http://www.hosokawakawori.com/>
事務所：越前市村国1丁目2-11
TEL・FAX 42-5888



県政報告会のお知らせ

9月19日（金）

とき 午後7時～
ところ 村国1丁目

「コミュニティーセンター村国」
〒武生国高局の角を村国山に向かって曲がった突き当たりです。

出前講座：鳥獣対策

※県・市の担当の方々から現状と対策を伺い、意見交換します。

